

令和元年6月24日現在

機関番号：32643

研究種目：基盤研究(C)（一般）

研究期間：2016～2018

課題番号：16K02333

研究課題名（和文）人形浄瑠璃における情の表現に関する総合的研究

研究課題名（英文）Comprehensive study on the expression of emotion in Bunraku

研究代表者

細田 明宏（HOSODA, Akihiro）

帝京大学・文学部・教授

研究者番号：20412801

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 3,500,000円

研究成果の概要（和文）：本研究は、人形浄瑠璃における情の表現について、さまざまなアプローチにより明らかにすることを目的とする。代表者および分担者は、単独であるいは連携して、調査および研究活動をおこなった。調査のうち主なものは、人形浄瑠璃や舞楽の実演家に対する聞き取り調査や、文楽座をはじめとする人形浄瑠璃上演の実態調査である。また心理学調査による共同研究もおこなった。これらの調査および研究は、学術論文や学会発表、著書として発表された。

研究成果の学術的意義や社会的意義

本研究で実施した聞き取り調査や心理学調査により、人形浄瑠璃における伝承や上演のあり方や情の表現の特質があきらかになった。また宮内庁楽部楽師に対しておこなった聞き取り調査により、舞楽における芸術理念の特質があきらかになった。さらに聞き取り調査の一部は、文字起こしおよび整理をおこなった上で雑誌上に発表した。これらのことにより、文化財としての人形浄瑠璃のあり方を考える上で重要な情報が社会に共有された。

研究成果の概要（英文）：The aim of this study is to clarify the expression of emotion in puppet theater in various ways. Representatives and team members conducted research and research activities alone or jointly. Collaborative studies based on psychology experiment was also carried out. The results were published as academic papers and conference presentations.

研究分野：人形浄瑠璃

キーワード：語り 浄瑠璃 人形操り 文楽 感情表現 口頭伝承 舞楽 雅楽

様式 C - 19、F - 19 - 1、Z - 19、CK - 19 (共通)

### 1. 研究開始当初の背景

研究開始時において人形浄瑠璃に関する研究は、各分野の個別のアプローチにより、浄瑠璃と人形操りを別々に扱うことがほとんどだった。しかし本来人形浄瑠璃において、浄瑠璃と人形操りは密接な関係にある。しかも両者は共に、情を表現することに重きを置いている。そのことに注目し、三人遣い操法においては義太夫節浄瑠璃と同じく情の表現が重視されていることを明らかにしたものと、細田明宏「人形浄瑠璃における「情」の重視と三人遣い操法の成立」(2011)がある。

そこで本研究では、さまざまな分野の研究者が連携して調査・研究を行い、その成果を世に問うことで、人形浄瑠璃研究に新たな視座をもたらして一般社会や学界に貢献するとともに、人形浄瑠璃研究に対する社会的な要求に応じようとする。

### 2. 研究の目的

人形浄瑠璃においては、「情」(感情や心情)を表現することが重要視される。本研究では、浄瑠璃と人形操りそれぞれにおいてどのように情が表現されているのかを明らかにし、人形浄瑠璃に対する理解を深めることを目的とする。すなわち本研究は、人形浄瑠璃における情について、さまざまな分野(美学・演劇学、文楽研究、雅楽研究、社会心理学)の研究者が連携して調査・研究を行い、その成果を世に問うことで、人形浄瑠璃についての新たな研究基盤を構築することを目標とする。さらに調査で得た資料や研究成果を公開することにより、人形浄瑠璃に関する情報へのアクセスを容易にする。また本研究は、情という人形浄瑠璃の本質に迫る問題を明らかにすることにより、文化財としての人形浄瑠璃のあり方を考える際の基本的な知見を提供することを目標としている。

### 3. 研究の方法

次の(1)から(3)の調査・研究をおこなう。

#### (1) 浄瑠璃の稽古と上演の実態

情の表現を考える上で、稽古は重要な研究対象であるため、次の調査・研究をおこなう。

文楽座技芸員に対するインタビュー調査

文楽座技芸員がどのような表現を目指しているのかについて、聞き取り調査をおこなう。

地方人形座の上演の実態

山口県、東京都の地方人形座が、実際にどのように上演されているのかを調査する。

調査結果の比較検討

調査の結果をもとに稽古の実際、文楽と地方人形座との違いについて明らかにする。

#### (2) 心理学調査

人形の個性や心の動きを人が感じ取る過程

静止状態にある文楽人形に対する印象(どのような感情が読み取れるかなど)が、人形遣いによる動きが加わることによってどのように変化するか。また共感性や自尊感情、攻撃性などの個人差が、人形の感情や個性の読み取りに関連するかを明らかにする。

一人遣いと三人遣いとの比較

文楽人形は通常、三人の人形遣いによって操作される(三人遣い)が、元は一人の人形遣いによって操作されるもの(一人遣い)であった。そこで一人遣いと三人遣いにおいて読み取れる感情の違いを明らかにする。

#### (3) 人形操りと舞楽との比較

舞楽では情の表現がなされないことが、代表者(細田)による予備調査で明らかになった。そこで人形操りと舞楽との違いに着目し、次の調査・研究をおこなう。

宮内庁楽師へのインタビュー調査

宮内庁楽師に対してインタビュー調査をおこなう。

人形操りとの比較

調査の結果をもとに人形操りと舞楽との比較をおこない、論文にまとめて発表する。

### 4. 研究成果

本研究では、次のような成果をあげることができた。

#### (1) 浄瑠璃の稽古と上演の実態

文楽座技芸員などの文楽関係者を対象として聞き取り調査をおこなった。また地方の人形浄瑠璃についても聞き取り調査をおこなった。さらに過去におこなった聞き取りについて補足調査をおこなった。これら聞き取り調査の一部は、文字起こしおよび整理をおこなった上で雑誌上に発表した。

#### (2) 人形操りと舞楽との比較

宮内庁楽部に所属する楽師に対して聞き取り調査をおこなった。この聞き取り調査は、今日の宮内庁楽部における舞楽の上演の実態および芸術理念に関するものであり、それにもとづいて論文が発表された。またその結果によって、文楽の人形操りとの比較も検討され、いくつかの点で違いがあることがあきらかになった。

#### (3) 心理学調査

文楽座技芸員による人形操作をビデオ収録し、それを被験者に提示しておこなった心理学実

験の結果がまとめられた。この調査は、文楽人形の動き（感情表現に関するものを中心とする）を被験者がどのように知覚するのかを明らかにしようとするものである。その成果を、2019年2月15日に東京・国立劇場において「科研費成果報告会」として発表した。

## 5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕(計7件)

細田明宏、二〇世紀の名古屋における義太夫節浄瑠璃 -竹本吾雪氏に聞く、帝京大学文学部紀要、49、1-28、2018、査読無

<https://tk-opac2.main.teikyo-u.ac.jp/webopac/TC70000776>

TERAUCHI Naoko, 'Be a costume hanger': the aesthetics of imperial bugaku dance of Japan, 国際文化学研究, 49, 83-103, 2017, 査読無

細田明宏、西畑(さいばた)人形の興行と操法 : 三代目朝日若輝(池原由起夫)氏に聞く、帝京日本文化論集、(24)、1-77、2017、査読無

寺内直子、知と技の伝播と共有 : 美濃高須の豪商吉田家の文化活動、日本文化論年報、(20)、2017、1-42、査読無

[http://www.lib.kobe-u.ac.jp/infolib/meta\\_pub/G0000003kernel\\_81009826](http://www.lib.kobe-u.ac.jp/infolib/meta_pub/G0000003kernel_81009826)

細田明宏、三人遣いの修業と動きの基本 : 文楽人形遣い・吉田勘彌氏に聞く、帝京大学文学部紀要. 日本文化学、(48)、17-99、2017、査読無

<https://tk-opac2.main.teikyo-u.ac.jp/webopac/TC70000588>

細田明宏、山口県の義太夫師匠・竹本住寿太夫氏に聞く、帝京日本文化論集、(23)、1-55、2016、査読無

大江朋子、身体と外界の相互作用から醸成される社会的認知、実験社会心理学研究、55(2)、2016、1-8、査読無

10.2130/jjesp.si1-0

〔学会発表〕(計8件)

大江朋子・細田明宏・後藤静夫、文楽人形と人間の顔から知覚される感情と特性 : クラスタ分析による分類および評定者の個人特性との関連性、科研費成果報告会「文楽人形の顔と動きはどのように知覚されるか」、2019

大江朋子・細田明宏、文楽人形の動きが生み出す生命感 : 基本感情と特性の知覚、科研費成果報告会「文楽人形の顔と動きはどのように知覚されるか」、2019

細田明宏、文楽式三人遣い操法の特徴、科研費成果報告会「文楽人形の顔と動きはどのように知覚されるか」、2019

大江朋子、温かさの心理学 : 身体から印象の形成へ、日本理論心理学会第63回大会、2017

大江朋子、顕在及び潜在的 Self-esteem の安定性と可変性、日本社会心理学会第58回大会、2017

Oe, T., & Hosoda, A., Breathing life into bunraku puppets: Warmth comes into them when they make a movement., the 12th Biennial Conference of the Asian Association of Social Psychology, 2017

細田明宏、人形浄瑠璃『三勇士名誉肉弾』の「原作者」をめぐって、芸能史研究会東京例会、2017

Oe, T., Hosoda, A., & Goto, S., Perception of emotions and traits in human and bunraku puppet faces: Are they related to perceiver's self-esteem, aggression, and empathy? Poster presented at the 31st International Congress of Psychology, Yokohama, Japan, 2016

〔図書〕(計2件)

寺内直子、アルテスパブリッシング、伶倫楽遊 芝祐靖と雅楽の現代、2017、272

Salz, Jonah (EDT), Goto Shizuo et al, Cambridge Univ Pr, A History of Japanese Theatre, 2016, 550(155-158)

〔産業財産権〕  
出願状況（計 件）

名称：  
発明者：  
権利者：  
種類：  
番号：  
出願年：  
国内外の別：

取得状況（計 件）

名称：  
発明者：  
権利者：  
種類：  
番号：  
取得年：  
国内外の別：

〔その他〕  
ホームページ等

## 6. 研究組織

### (1) 研究分担者

研究分担者氏名：後藤 静夫  
ローマ字氏名：(GOTO, Shizuo)  
所属研究機関名：京都市立芸術大学  
部局名：日本伝統音楽研究センター  
職名：名誉教授  
研究者番号（8桁）：50381926

研究分担者氏名：寺内 直子  
ローマ字氏名：(TERAUCHI, Naoko)  
所属研究機関名：神戸大学大学院  
部局名：国際文化学研究科  
職名：教授  
研究者番号（8桁）：10314452

研究分担者氏名：大江 朋子  
ローマ字氏名：(OE, Tomoko)  
所属研究機関名：帝京大学  
部局名：文学部  
職名：准教授  
研究者番号（8桁）：30422372

### (2) 研究協力者

研究協力者氏名：  
ローマ字氏名：

科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等については、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属されます。